

Messerschmitt Bf 109 E-7 "Japanese Army"

w/ Ground Crew & Equipment #2

1/48スケール プラスチックモデル組み立てキット
メッサーシュミットBf 109 E-7

"日本陸軍" w/ 整備情景セット②

Kit No. 48995

JOY KITS LABO
Finemolds

実機解説 組立説明は2ページより

※当解説書の無断転載を禁じます。

■日本陸軍とBf109

1930年代の国産航空技術自立期において、国内航空機産業は黎明期に続き欧米先進国から技術導入を得ていた。主にドイツから機体に関する設計技術を、アメリカからは空冷エンジンに影響を受け、さらにヨーロッパ各国から多角的な技術導入がされていた。

1935年(昭和10年)に再軍備を宣言したドイツは、外貨と国際的威信の獲得を目的に最新機材の輸出も積極的におこなっていた。対して日本陸軍は航空技術向上の参考資料や、時には装備充実のため外国製機の輸入を度々おこなっていた中で、昭和12年の支那事変勃発に際しドイツのハインケルHe111爆撃機70機を発注するも、親中派のゲーリング航空大臣に輸出を禁止された。(その後同爆撃機は中国へと輸出されている)さらに昭和13年9月に武装込みでBf109の購入打診をするが、金額で折り合いがつかなかったという。商談がまとまれば、部隊運用できるまとまった機数の導入可能性もあったようだ。

とはいえ日本の航空技術進展にはドイツからの技術導入に頼らざるを得なかった。日本軍による中国都市空襲を期に、昭和13年6月に米国政府は日本に対し航空機やエンジンなどの武器輸出を規制、さらに昭和14年7月の日米通商航海条約破棄通告などで米国からの技術や資材導入が不可能となり、欧州でも支那事変の推移につれ日本に対し厳しい姿勢をとる国が増えたことが要因である。

昭和15年1月に日本陸軍はBf109 E-3を10機購入する契約を交わし、3月末の発送予定と取り決めるが結局日本には到着しなかった。昭和15年のドイツ軍フランス侵攻で中立国オランダが占領されるが、交戦国の妨害でオランダの港からの積み出しが不可能となったため、後にこの契約は解約されたと思われる。

その後、昭和16年1月から6月にかけて、当時の日本陸軍航空総監であった山下奉文を団長とする航空機産業視察団がドイツ・イタリアに派遣された。一説によればこのとき一行がBf109の展示飛行に接し、この機体を研究用として輸入することが決められたといわれる。

同年4月18日(または5月26日頃)

に日本に到着したBf109は、機体は川崎航空機岐阜工場へ、搭載エンジンDB601は川崎航空機明石工場を組み付けが行われた。日本に到着したBf109はE-7型の2機であり、時を同じくドイツのメッサーシュミット社からテストパイロット、ウィリー・シュテアと組立技師ヘルベルト・カーデンが来日、機体の組立から整備、操縦の指導をおこなった。機体の迷彩はあらかじめドイツで施されたが、機体上面はドイツ機には見られない黄土色から茶色系の迷彩がなされていたようだ。機体発注時に将来の実戦を考慮した配色をドイツ側に希望したと考えられる。ただ、緑系の迷彩(ドイツ空軍の迷彩か?)だったとの記述資料もあり、輸入された2機の迷彩が異なっていた可能性もある。

各務原飛行場で7月14日から試験飛行が開始されたが、当初はBf109のブーストが安定せず、調整後もカタログデータを少し下回っていたようだ。

■各務原飛行場での模擬空戦

きたる南進作戦において、陸軍はイギリス軍のスピットファイア戦闘機を大きな脅威と見ていた、そこで輸入したBf109をこの敵新鋭戦闘機にみまて、試作機を含む陸軍戦闘機の実力を確認する模擬空戦が各務原飛行場で計画される。ドイツからは前述2名に加え伝習教育目的で来日したロージヒカイト大尉、ドイツ航空工業会のハルン、ダイムラーベンツ社からハールトーンらが参加。日本側は陸軍飛行実験部、川崎航空機の技師が参加。対戦するのは九七式戦闘機ならびに試作機キニ七II、キ四四(後の二式単戦「鍾馗」)、キ四五、キ六〇である。

Bf109は1号機を実験に用いた。ロージヒカイト大尉のBf109と荒時大尉のキ四四とによる模擬空戦では、ロージヒカイト大尉が日本側の考える格闘空戦をせず、ドイツ空軍が実戦でおこなうように一撃離脱のみで戦い、日本側の意図した機動力の比較ができず演習が成立しなかった。

Bf109の操縦者を岩橋大尉に変え、荒時大尉の操縦したキ四四は高位戦では蝶形空戦フラップを使用し、Bf109よりも旋回半径を小さくし空戦を優位に展開。

キ四四の低位戦では上空からのBf109の突進を旋回でかわし、スローロールで離脱するBf109に上昇力で追従できた。キ四四は日本式演習ながらBf109に対し優位に立てたことで、スピットファイアとの空戦にも対抗しうる可能性を見いだせた。キ六〇は上昇力で劣るが総合的にはBf109と同じと評価。当時の主力戦闘機である九七戦は速度も遅くやや旧式と見られたが、Bf109との模擬空戦では九七戦単機または2機から3機が連携して演習をおこなった。旋回能力に優れた九七戦を相手にBf109は射撃位置に占位しにくく、奇襲でなければ勝利できないと評したが、その一方で速度と上昇力に優れるBf109が空戦の主導権を握れるとの意見もあった。

この模擬空戦を通じて日本陸軍戦闘機が欧州の高速戦闘機に対し戦力にならぬ事態は避けられるであろうと推察され、また速度と上昇力の強化など含め次世代陸軍戦闘機への課題も提言された。陸軍パイロットのBf109への評価は「操縦者が楽な座席配備」「前縁スラットにより離着陸距離が短い」「視界は側後上方は悪いが横は良」とし、突っ込み速度に優れた長所を評価した。

昭和16年7月の模擬空戦後、Bf109は飛行実験部に貸与され、明野飛行学校にて特殊飛行や射撃試験などの研究がおこなわれた。繰り返された試験飛行では着陸時に機体が傾いて翼端が地面をこすり、補助翼を破損する事故がしばしば発生している。現存する1号機の写真で、フラップ上面の色調が主翼上面と異なっているのはその名残と思われる。

Bf109を開戦前に輸入したことは、機体強度が高く加速降下が鋭い欧州の第一線戦闘機を陸軍が体感できる貴重な機会となった。DB601エンジンを含めた動力装備や、性能を維持しつつ量産性を考慮した機体設計などが参考になったといわれる。

●参考文献

月刊丸 令和元年10月号 潮書房光人新社
世界の傑作機 メッサーシュミットBf109 B~E
昭和49年9月発行 文林堂
写真史「飛行第四十七戦隊」
令和2年1月5日発行 文林堂
陸軍実験戦闘機隊
平成11年9月1日発行 グリーンアロー出版社

作る前にお読みください

- この製品は組み立てモデルです。あらかじめ本説明書の全工程に目を通し、組立工程ごとにイラストを見ながら部品の取り付け位置を事前に確認して組み立て作業を進めてください。
- 本製品には接着剤と塗料は付属していません。プラスチックモデル専用の接着剤と塗料を別途お買い求めください。
- カッターナイフや模型用ニッパー、ピンセットをご用意ください。
- 各部の塗装はGSIクレオス・Mr.カラーの番号を□内の数字で、続けて色名を表示しています。水性ホビーカーやタミヤカラーを使用する場合は、巻末の解説「塗装説明書の「カラーナンバー対応表」」を参照ください。

This is an unassembled model kit. Read carefully and fully understand the instructions before commencing assembly. Check the position of the installation before installing parts following the illustration. Cement and paints are not included in the kit. Side cutters, modeling knife, and tweezers are also required for assembly. Please carefully use tweezers for the installation of small parts. The boxed numbers in each illustration refer to the number of "Mr.COLOR" from GSI Creos. Please also check the color reference on the Painting & Marking page.

注意 ちゅうい

本製品は玩具ではありません。対象年齢15歳以上の組み立てモデルです。作る前にこの組立説明書をよくお読みください。

1. 部品を取り出した後のビニール袋は放置しないでください。子供が頭から被ったり飲み込むと窒息の恐れがあります。チェック済みとして、お住まいの地域のルールに従って処分してください。
2. 部品はきれいに切り取り、切り取った後の不要部分や切り取りクズは部品の入っていたビニール袋と共に「プラスチック」のゴミとして、お住まいの地域のルールに従って処分してください。
3. 尖っている部品があります。お子様の手の届く所に放置しないでください。他の用途には絶対に使わないでください。
4. 特に小さいお子様のいる家庭では部品や部品切り取り後の不要部、ビニール袋等を誤って飲み込まない様に注意してください。小さなお子さまが側にいる、もしくは出入りする環境での作業や放置はおやめください。
5. 組み立ての際、ニッパー・ナイフ等を不用意に取り扱うと刃先で怪我をする恐れがあります。注意してください。
6. 接着剤、塗料を使用する場合は下記に注意してください。
 - 中毒の恐れがあるので閉めざった室内では使用しない。
 - 引火の恐れがあるので火の近くで使用しない。
 - 接着剤・塗料は目や口に入れない。誤って入れたときはすぐに大量の水で洗い流し医師に相談すること。
7. 工具・接着剤・塗料等を使用する前には、それぞれの説明書に記載の注意事項をよく読み、正しく使用してください。

CAUTION MAKE SURE TO READ THE INSTRUCTIONS BEFORE ASSEMBLING.

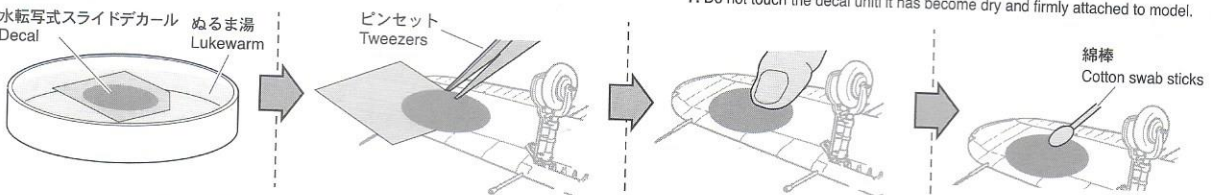
THIS IS NOT A TOY! This model kit is suitable for age 10 to adult. When assembled by children aged 14 or younger, it is recommended that an adult, who has read the instructions, supervise the process. 1. This is an unassembled kit. Read the instructions before assembling, supervise the process. 2. Tear up and discard the plastic bags containing kit parts as children may accidentally hurt themselves by swallowing or suffocate by putting the bags over their head. 3. After preparing the parts by cutting, please dispose of the waste properly. 4. Don't play with the parts because some parts have sharp points. Exercise caution and care when assembled with infants in nearby vicinity. 5. Keep all parts out of reach of small children. Children must not be allowed to put any parts in their mouth, or pull plastic bags over their head (risk of suffocation). 6. Assembly involves the use of tools including knives. Extra care should be taken to avoid personal injury. 7. Take the following precautions when using adhesives and / or paints: Don't use in a closed room to avoid poisoning / intoxication. Don't use near fire (risk of flammability). Avoid contact with either your eyes or mouth. In case of accidental contact, rinse with large amounts of water and consult a doctor. 8. Read and follow the instructions supplied for the tools, the cement and the paints when used for assembly.

※製造には万全の注意を払っておりますが、万が一製造上の不良部品が内包した際にはご購入日とご購入店様名をお書き添えの上、不良部品のみを郵便にてお送りください。(製品すべてをお送りいただく必要はございません) 送料分の切手と代替部品をお送りします。 〒441-3301 愛知県豊橋市老津町場53-2 (有) ファインモールド



水転写式スライドデカールの貼り方

1. 1回に必要なマークのみを台紙と共にハサミで切り抜きます。
2. 切り出したマークを10秒から20秒程度ぬるま湯に浸してから引き上げます。
3. 貼りたい位置にマークを台紙ごと移動し、マークをずらしてモデルに移します。
4. 濡らした指などでずらしながら正しい位置に動かします。
5. 位置が決まったら、柔らかい布や綿棒などで気泡と水分を押し出すようにマークを固定します。(力を入れますとマーク全体が移動するので注意)
6. 曲面や凹凸部にマークを密着させる際は、GSIクレオス製Mr.マークソフターを使用し、綿棒などで慎重に作業します。貼ったマークは乾いて固着するまで触れないでください。(マークソフター本体の取扱説明も参照ください)

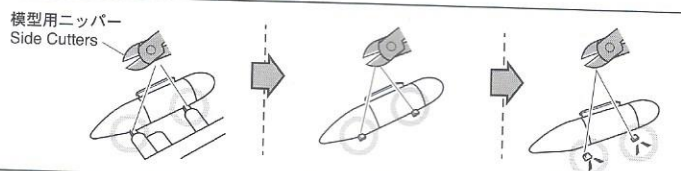


Decal Application:

1. Cut off each decal mark from the sheet.
2. Dip the mark into lukewarm water for about 15 seconds.
3. Place the mark in position, and slide it off the base paper and onto the model.
4. Move decal into position by wetting the decal with finger.
5. To push out excess water and air bubbles under mark, Press the decal gently with a soft cloth or cotton swab sticks.
6. Use a hot steaming towel or decal softener to mold decal over sculpted or nonflat surface.
7. Do not touch the decal until it has become dry and firmly attached to model.

■パーツの切り取り方 To remove parts from tree

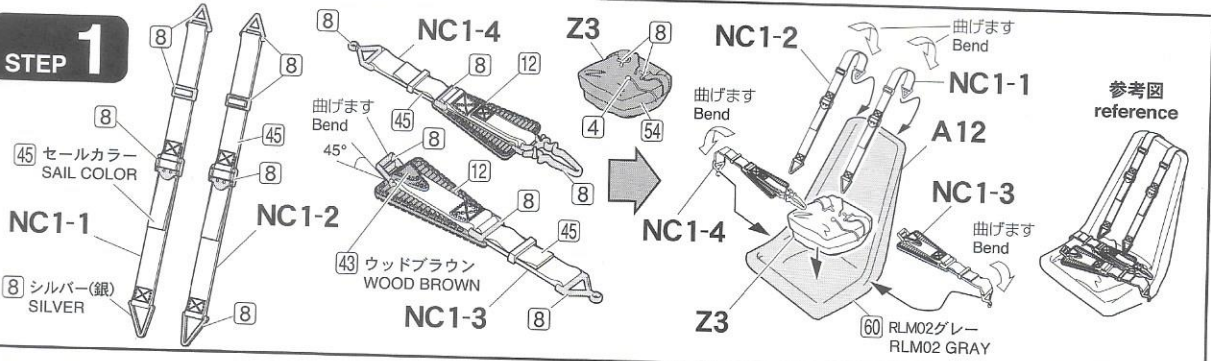
※ランナー(枠)から各パーツを切り離した際に突起が残った時は、カッターや模型用ヤスリ等で取り除いてください。

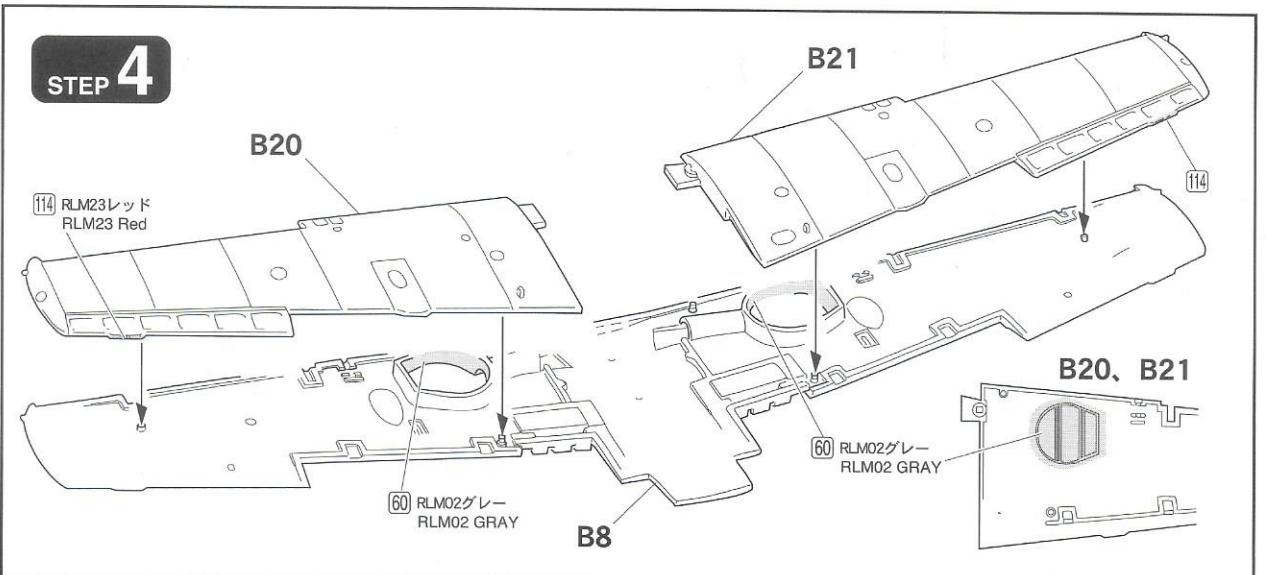
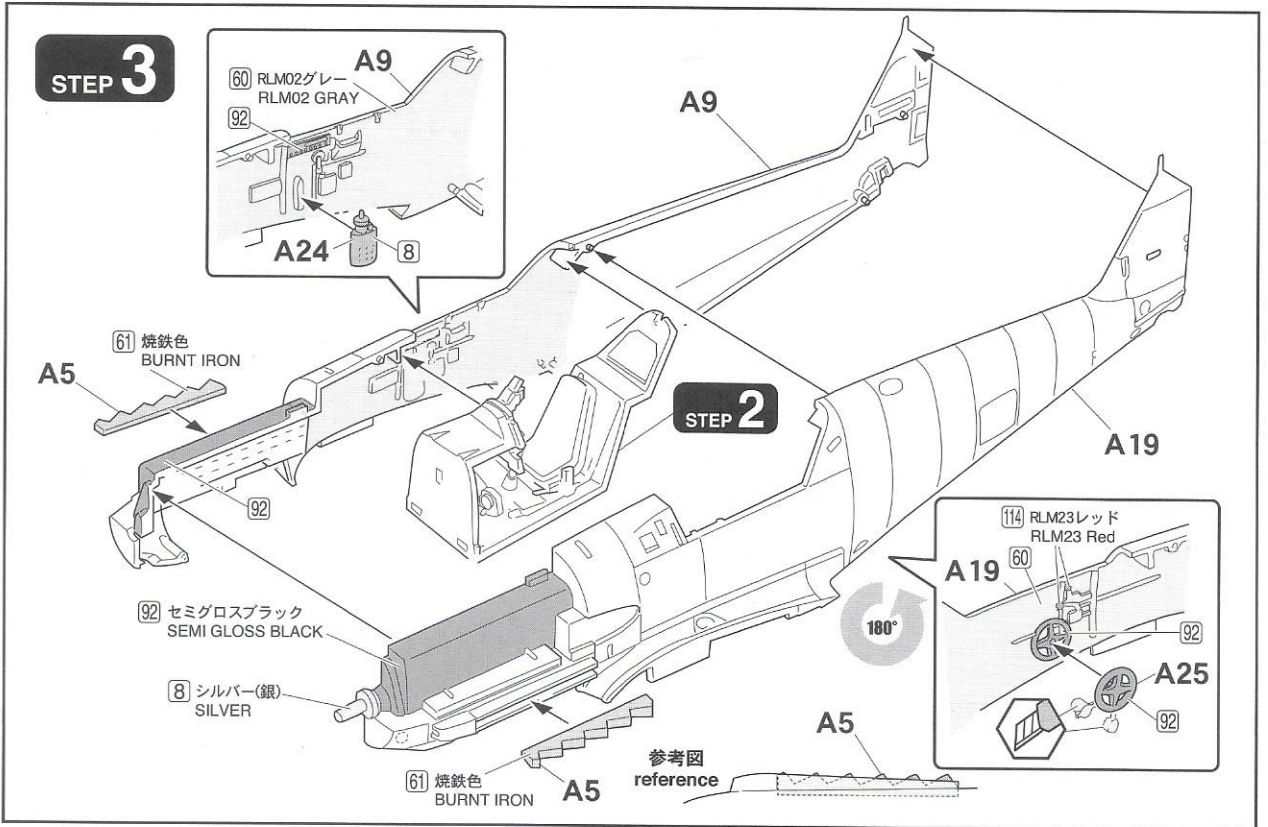
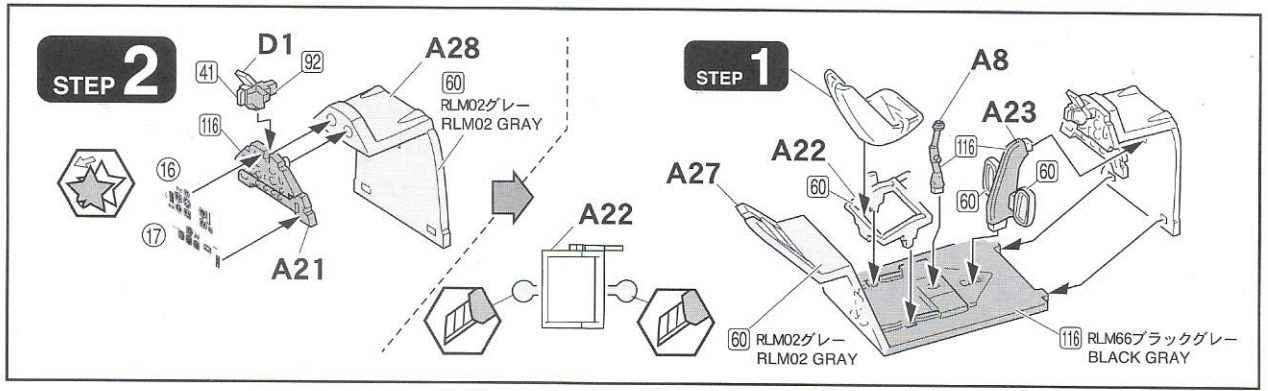


↑ ↓ 接着します Glue Kleben Coller	△ ▽ はめ込みます Fitting Anprobe Aller	✂ 接着しません Don't glue Nicht kleben Ne pas coller	✂ または or oder ou	✂ 切り取ります Remove Entfernen Enlever	❓ どちらか選びます Optional Wahlweise Facultatif	0.0 mm 穴を開けます Make a hole Loch bohren Faire un trou	⚠ 注意します Attention Aufmerksamk Faire attention
✂ けがをしないように Not to get hurt Afin de ne pas blesser	✂ 瞬間接着剤を使用します Use Cyanoacrylate (Superglue) Sekundenkleber Colle rapide	✂ ピンセットを用いて部品を取り付けます Use the tweezers Die Pinzette wird benutzt La pince à épiler est utilisée	✂ ○数字で指示した水転写式デカールを貼ります Abziehen in Wasser einweichen und anbringen Mouiller et appliquer les décalcomanies				

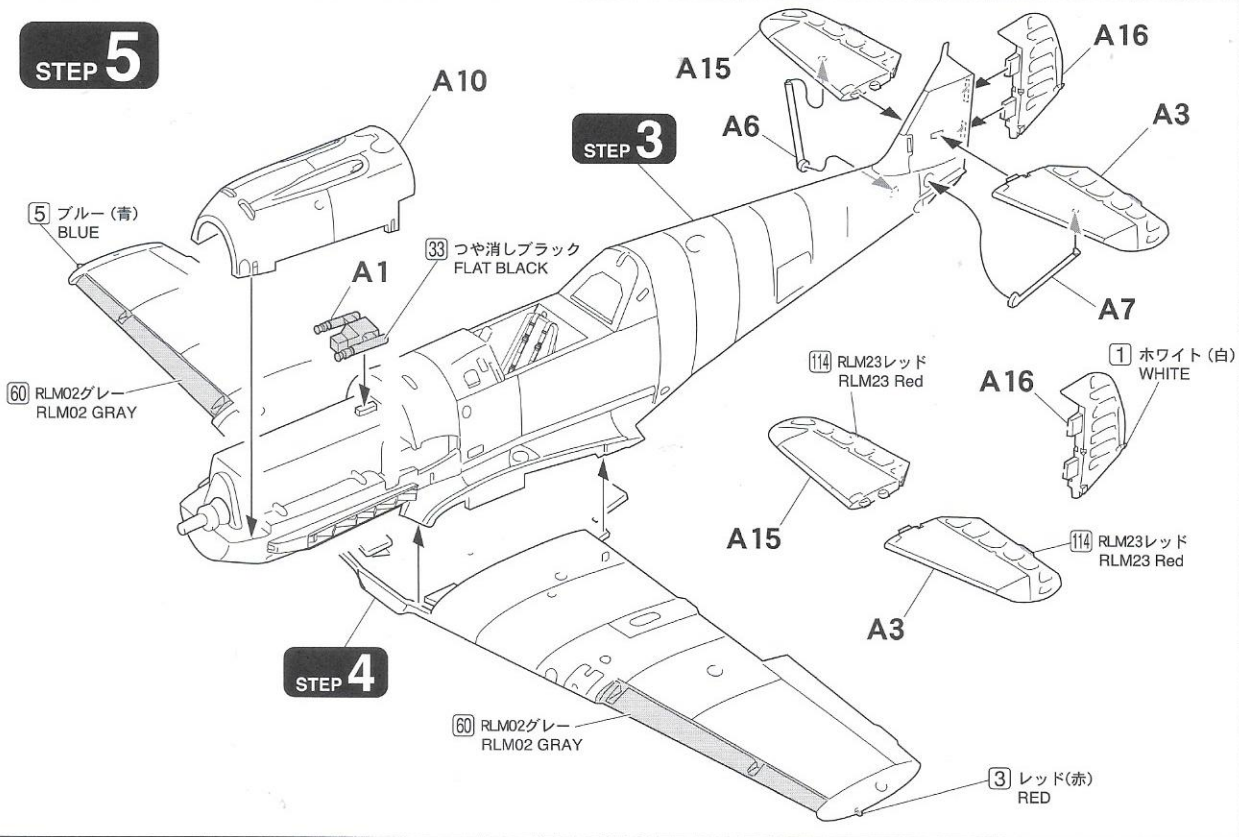
組立図中で塗装指示の無いものは「塗装とマーキング」ページで説明する機体色で塗装します。 Paint all parts body color except other color is specified.

STEP 1

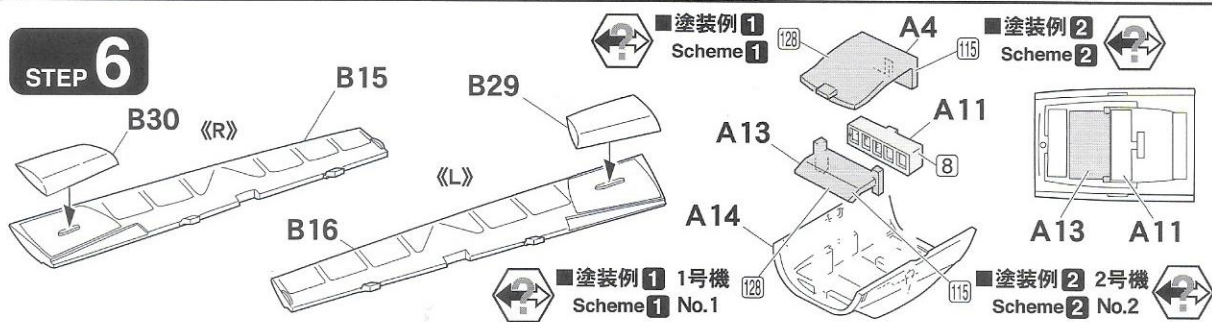




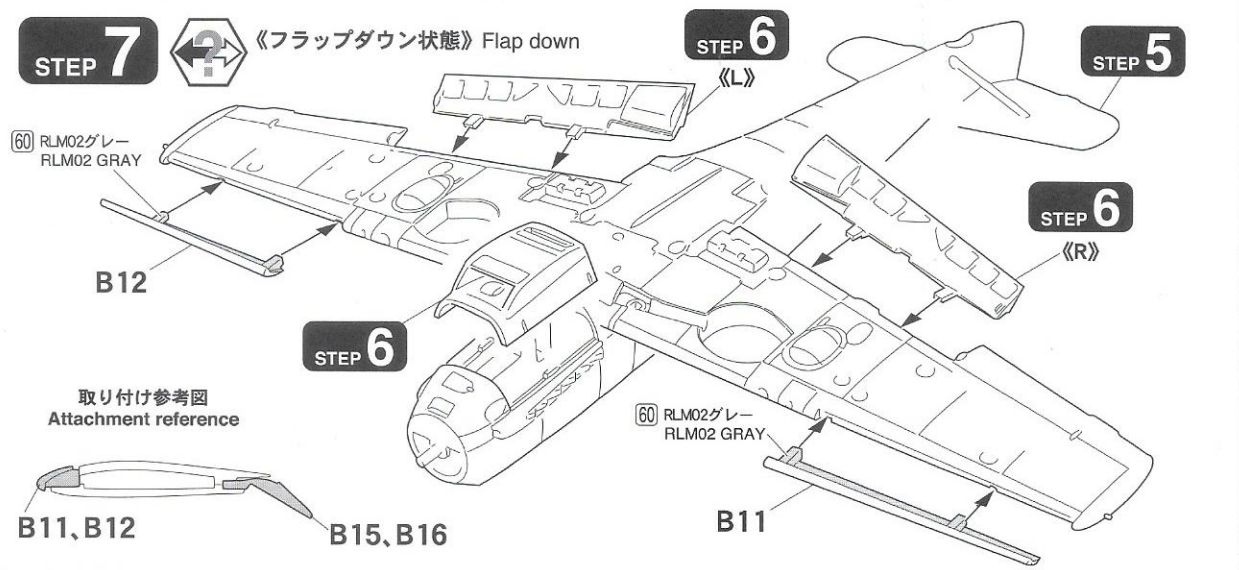
STEP 5



STEP 6



STEP 7

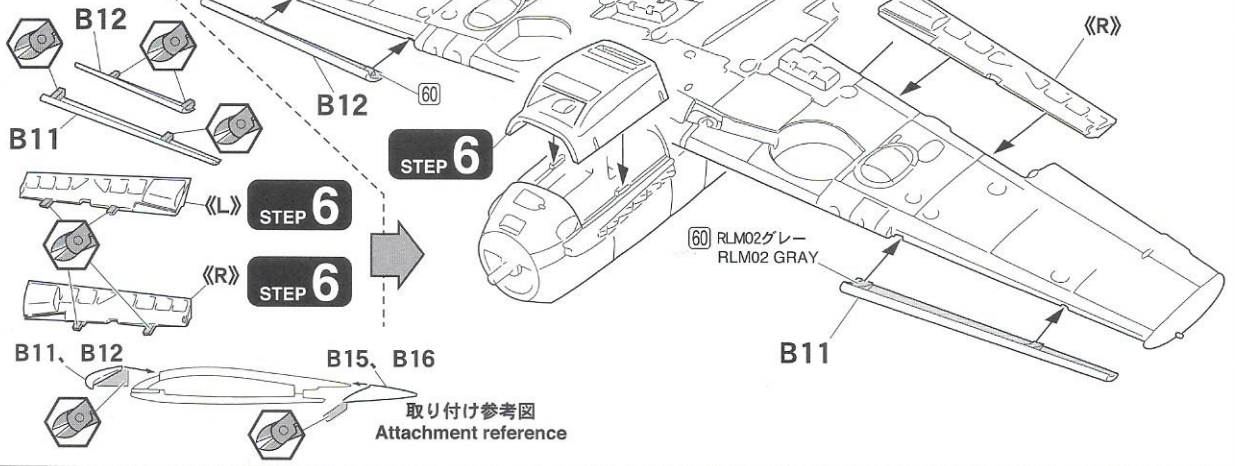


STEP 8

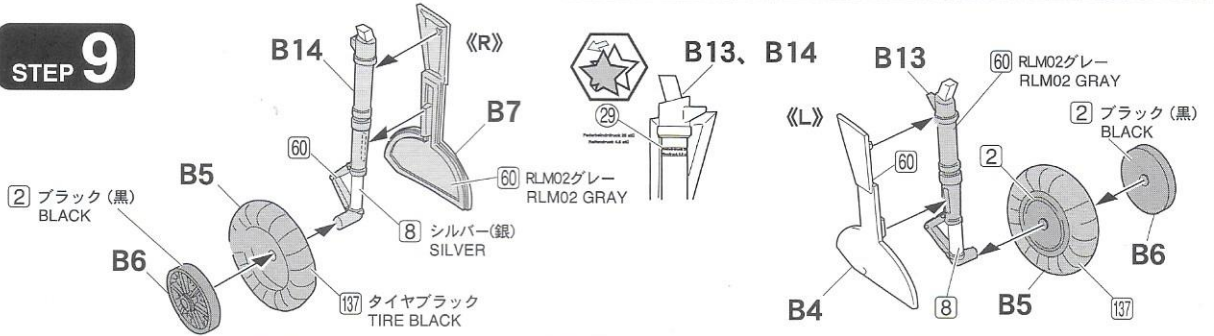


《フラップアップ状態》 Flap up

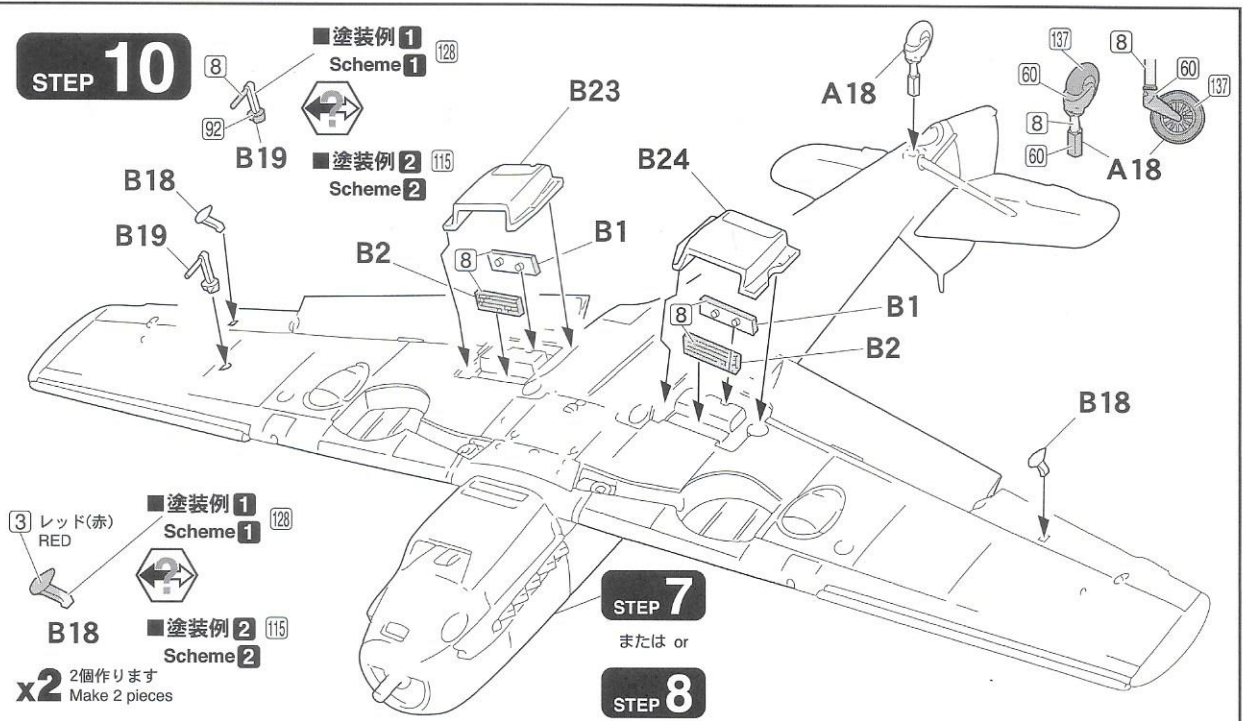
STEP 5

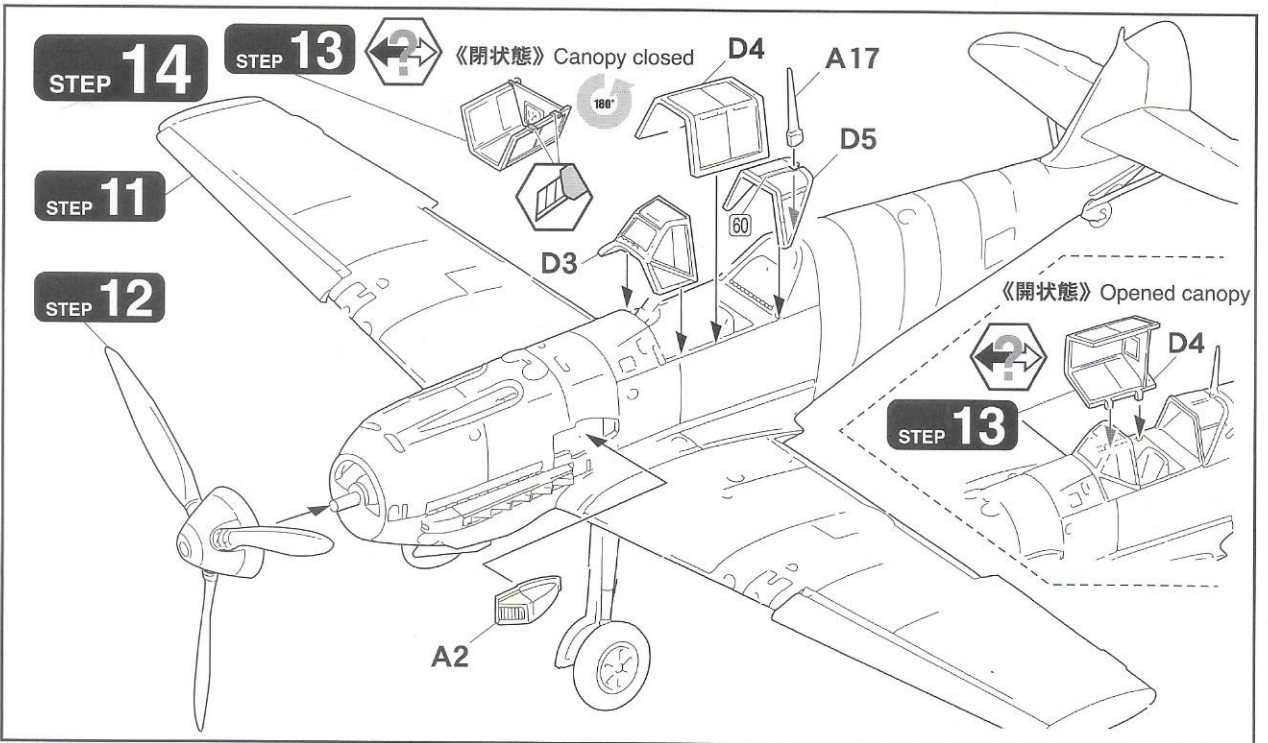
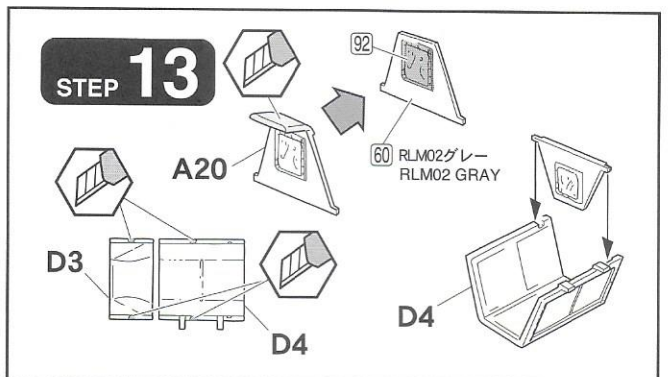
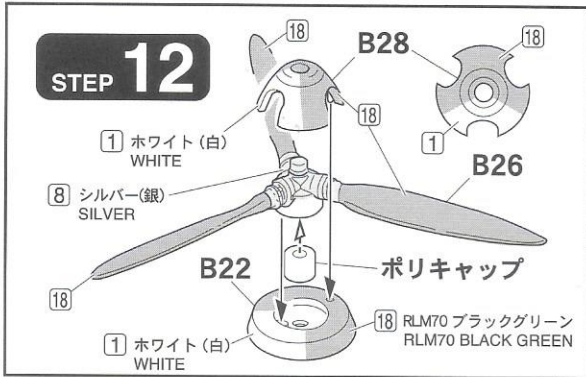
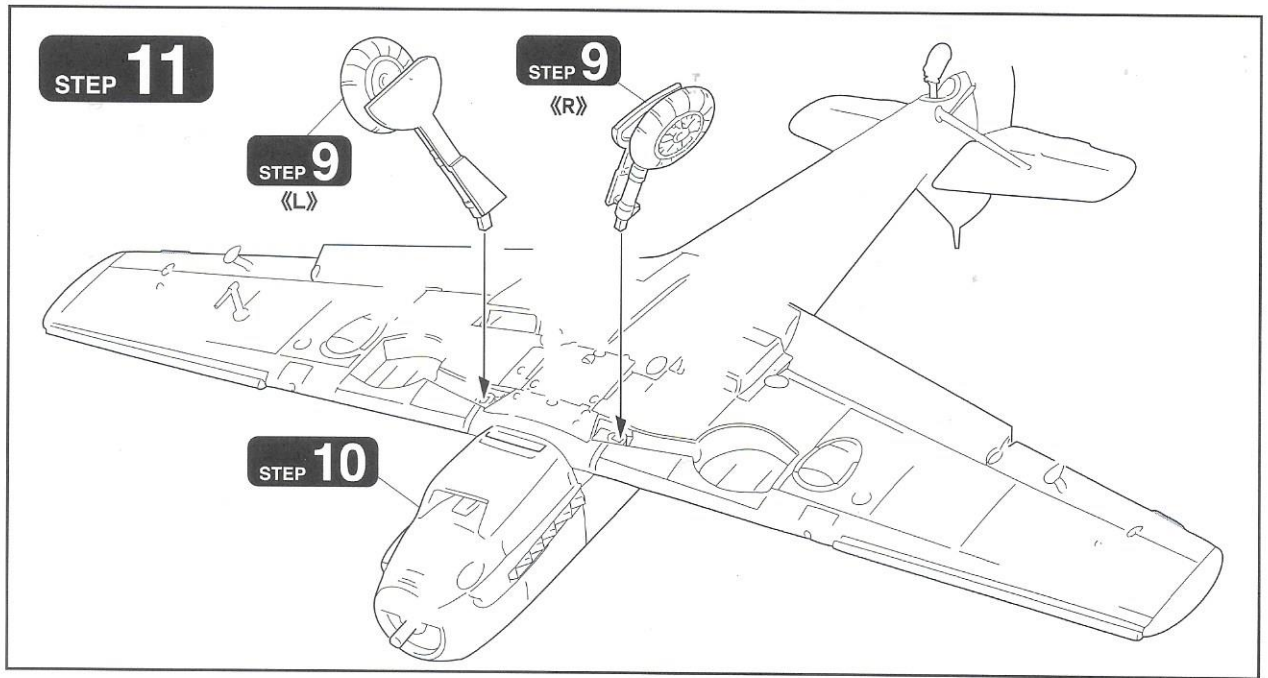


STEP 9



STEP 10

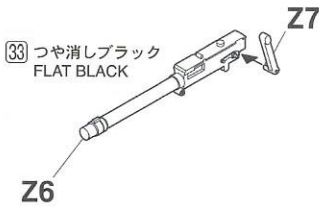




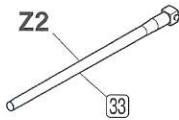
STEP 15

階級章 ⑤③ ⑤④ ⑤⑤ ⑤⑥ ⑤⑦ ⑤⑧ ⑤⑨ ⑥① ⑥② ⑥③ 階級章はお好みにより選んでください
 二等兵 一等兵 上等兵 (兵長) 伍長 軍曹 曹長 准尉 少尉 中尉 大尉

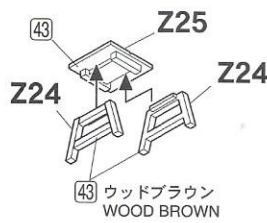
<八九式固定機関銃> IJA Type89 MG



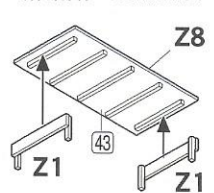
<八九式固定機関銃 予備銃身> IJA Type89 MG spare barrel



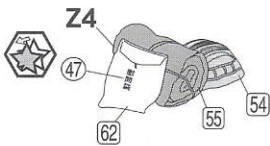
<踏み台> Stand



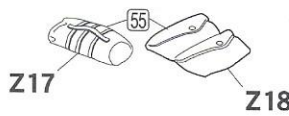
<作業台> Workbench



<慰問袋、毛布、落下傘> Comfort bag, blanket, parachute



<八九式固定機関銃・工具入> IJA Type89 MG tool bag



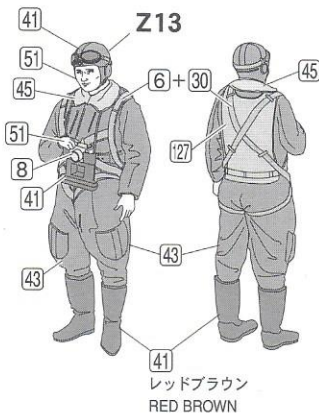
<飛行帽> Flying cap



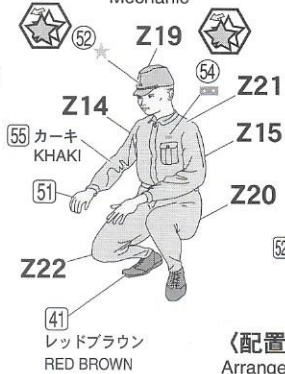
<バケツ> Bucket



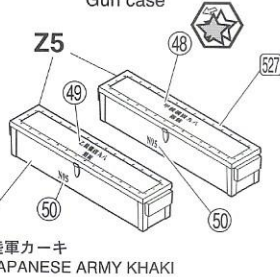
<パイロット立像> Pilot



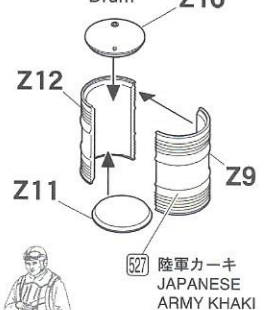
<整備兵> Mechanic



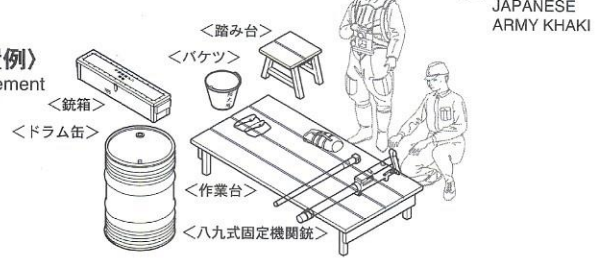
<銃箱> Gun case



<ドラム缶> Drum



<配置例> Arrangement



不要部品 : A26、A29、B3、B9、B10、B17、B25、B27、D2

■ 部品を破損・紛失された際は

紛失・破損などにより部品を請求される方はランナー(枠)単位で有償にてお分けいたします。本製品は下記部品請求カード(コピー不可)を必須といたします。代金引換はお受けできません。下記部品請求カード記載の各代金(消費税・送料込)を右記お支払い方法からお選びいただき、当社アフターサービス係(宛先は右下記載)までお申し込みください。いずれのパーツも本カード1枚につき1キット分に限らせていただきます。製品はその仕様または価格を予告無く変更することがございます。Z部品はアフターサービス対象外です。

■ ご注文とお支払い方法

●「定額為替」「現金書留」「ゆうちょ振替」「銀行振込」にてご送金の場合

左下欄の部品請求カード(コピー不可)の必要ランナー名を○で囲み、お名前・ご住所・電話番号を書き添えたメモを同封いただき、定額為替、現金書留の場合は共に郵送してください。郵便振替または銀行振込にてお支払いの場合は、部品請求カードとお振込(予定)日・お振込人名を別途郵送ください。

郵便振替の場合は払込用紙の通信欄に「製品番号、品名、ランナー名(部品枠)、数量」をご記入ください。ご入金を確認でき次第発送します。為替手数料あるいは振込手数料、送料はお客様にてご負担ください。

切手での送金はお受けできません。ご了承ください。いずれのご注文方法でも、弊社にてご入金の確認後3営業日以内に発送いたします。

■ゆうちょ銀行 振替口座: 00840-2-21475

■三菱UFJ銀行 豊橋支店

加入者名: (有)ファインモールド

口座番号: 普通 5369261

口座名: (有)ファインモールド

また、ご注文時にいただいたお客様の個人情報は当該商品の発送および発送記録確認以外の目的には使いません事をお約束いたします。

■重要: 部品請求対応期限について

本製品では部品請求対応品を用意できる期間を最長で2026年7月末日までとします。なお、これより以前であっても弊社在庫が無くなり次第終了します。予めご了承ください。

FineMolds

◆部品請求カード Use Only in Japan

No.48995 メッサーシュミット Bf 109 E-7
日本陸軍 w/ 整備情景セット②

A.....¥800	NC1.....¥500
B.....¥800	デカール.....¥750
D.....¥370	説明書.....¥500
ポリキャップ..... ¥100	

有限会社ファインモールド 〒441-3301 愛知県豊橋市老津町市場5-3-2

TEL: 0532-23-6810 FAX: 0532-23-6811

※お電話でのお問い合わせ対応時間:(土・日・祝、夏期および年末年始の休業日を除く)午前9時30分~午後5時30分

インターネットホームページ: www.finemolds.co.jp Eメールアドレス: otemami@finemolds.co.jp

© 2020 Fine Molds Made in Japan

塗装とマーキング

Painting & Marking

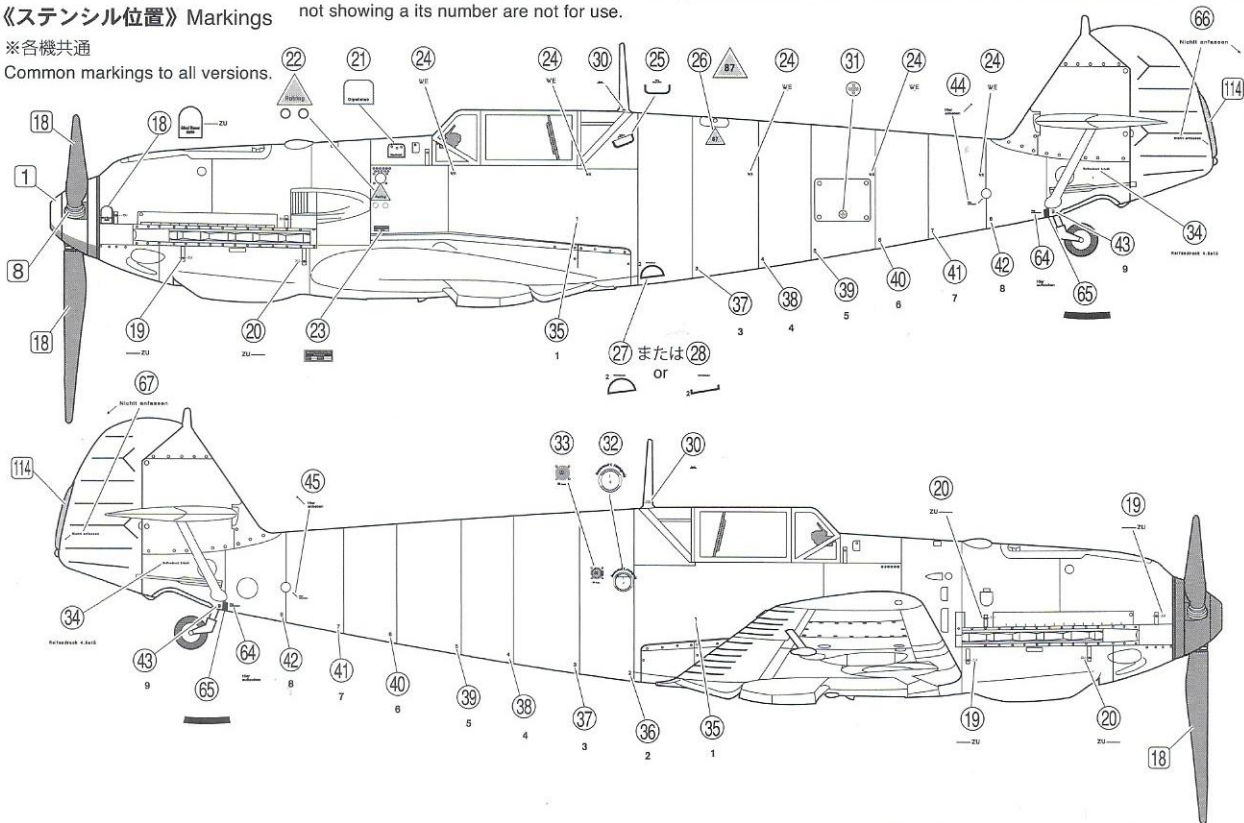
車体迷彩色は GSI クレオス製 Mr. カラーの各色で指示しています。GSI クレオス Mr. カラーの色番号を□内の数字で、続けて色名を表記しています。○で囲まれた数字は付属デカール(水転写シール)の番号です。GSI クレオス水性ホビーカラーや水性カラーアクリジョン、タミヤカラーをご使用の場合は、下記のカラーナンバー対応表を参考にしてください。
 ※細部の塗装は組立図中の説明を参考にしてください。表記の無いデカールは使用しません。

Boxed numbers refer to GSI Creos "Mr. Color" paint color numbers. Circled numbers refer to decal numbers. Decals not showing a its number are not for use.

《ステンシル位置》Markings

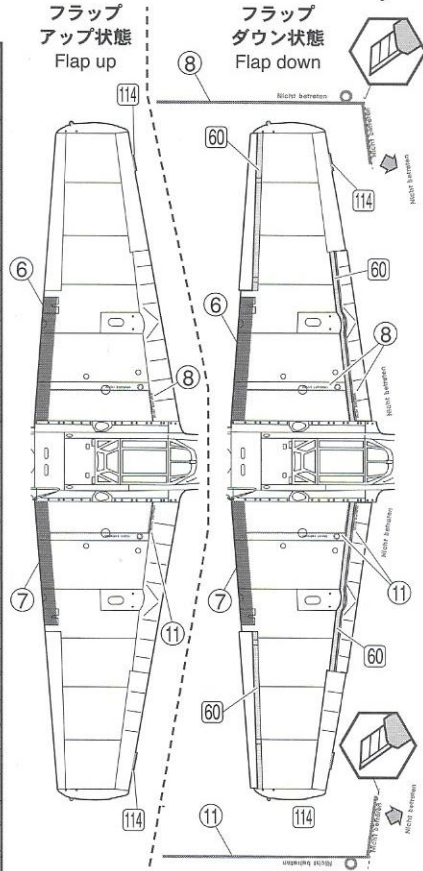
※各機共通

Common markings to all versions.



フラップ
アップ状態
Flap up

フラップ
ダウン状態
Flap down



カラーナンバー対応表

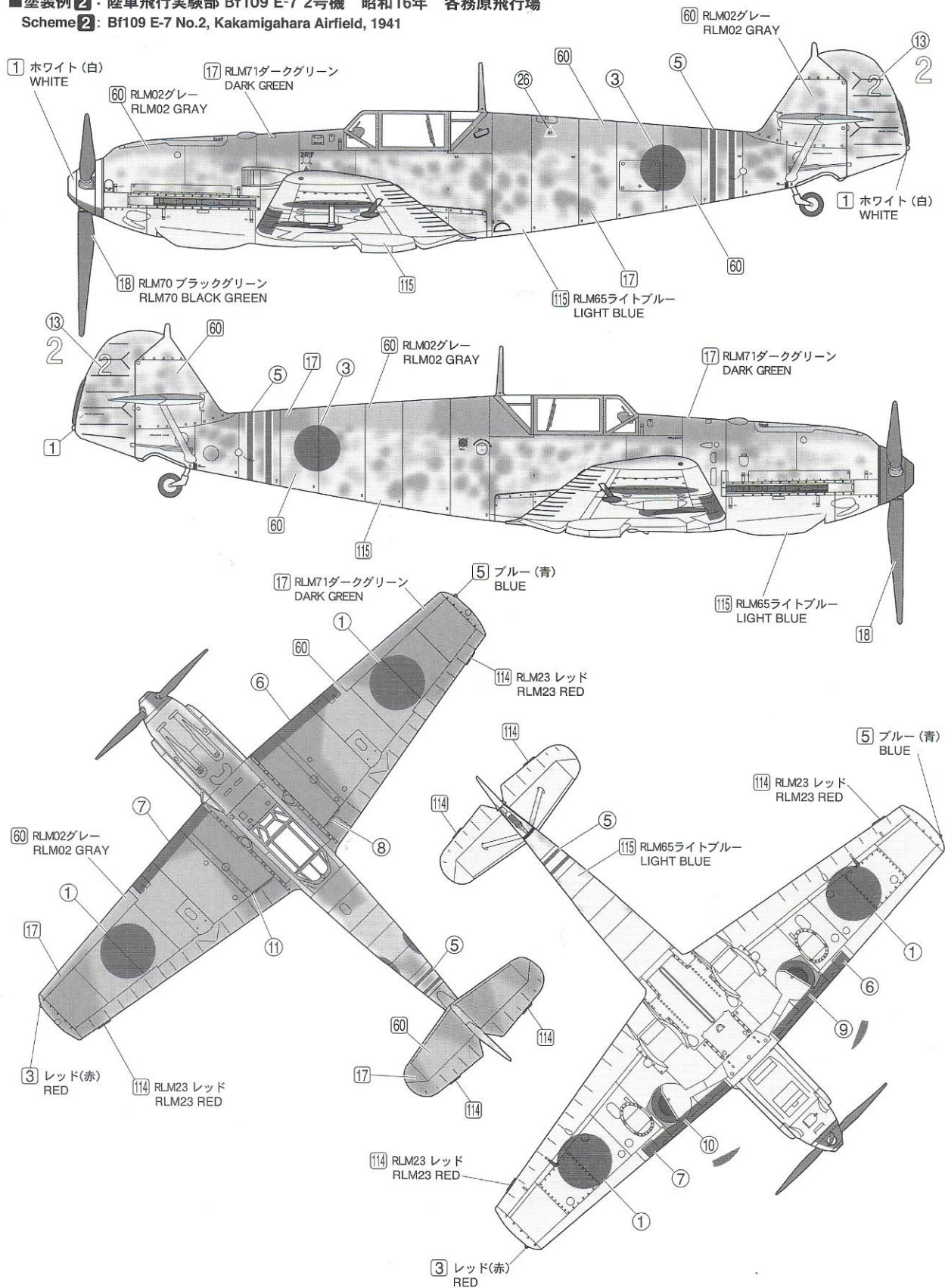
※近似色での表示です

Color Reference

GSIクレオス・Mr.カラー(□数字)	GSIクレオス・水性カラー	GSIクレオス・アクリジョン	タミヤカラー	English
1 ホワイト(白)	H1 ホワイト(白)	N1 ホワイト(白)	X2 ホワイト	Gloss White
2 ブラック(黒)	H2 ブラック(黒)	N2 ブラック(黒)	X1 ブラック	Black
3 レッド(赤)	H3 レッド(赤)	N3 レッド(赤)	X7 レッド	Red
4 イエロー(黄)	H4 イエロー(黄)	N4 イエロー(黄)	X8 レモンイエロー	Yellow
5 ブルー(青)	H5 ブルー(紺)	N5 ブルー(青)	X4 ブルー	Blue
6 グリーン(緑)	H6 グリーン(緑)	N6 グリーン(緑)	X5 グリーン	Green
8 シルバー(銀)	H8 シルバー(銀)	N8 シルバー(銀)	X11 クロムシルバー	Silver
12 オリーブドラブ(1)	H52 オリーブドラブ(1)	N52 オリーブドラブ(1)	XF62 オリーブドラブ	Olive Drab
17 RLM71 ダークグリーン	H64 RLMダークグリーン71		XF49+XF62	RLM71
18 RLM70 ブラックグリーン	H65 RLMブラックグリーン70		XF27 ブラックグリーン	RLM70
30 フラットベース	H40 つや消し剤	N40 つや消し剤	X21 フラットベース	Matt Base
33 つや消しブラック	H12 つや消しブラック	N12 つや消しブラック	XF1 フラットブラック	Matt Black
41 レッドブラウン	H47 レッドブラウン	N47 レッドブラウン	XF64 レッドブラウン	Red Brown
43 ウッドブラウン	H37 ウッドブラウン	N37 ウッドブラウン	XF2+XF64	Wood Brown
45 セールカラー	H85 セールカラー	N85 セールカラー	XF2+XF57	Sail Color
51 薄茶色	H44 薄茶色	N44 薄茶色	XF15 フラットフレッシュ	Flesh
54 カーキグリーン	H80 カーキグリーン	N80 カーキグリーン	XF58 オリーブグリーン	Khaki Green
55 カーキ	H81 カーキ	N81 カーキ	XF49 カーキ	Khaki
60 RLM02 グレー	H70 RLM02 グレー	N70 RLM02 グレー	XF22+XF49	RLM02
61 焼鉄色	H76 焼鉄色	N76 焼鉄色	XF7+XF56	Burnt Iron
62 つや消しホワイト	H11 つや消しホワイト	N11 つや消しホワイト	XF2 フラットホワイト	Matt White
92 セミグロスブラック			X18 セミグロスブラック	Semi Gloss Black
114 RLM23 レッド			X7 レッド	RLM23
115 RLM65 ライトブルー	H67 RLMダークグリーン65	N67 RLM65 ライトブルー	XF2+XF23	RLM65
116 RLM66 ブラックグレー			X7+XF63	RLM66
127 コクビツ色(中島系)		N127 コクビツ色(中島系)	XF3+XF21+XF58	Bright Green
128 灰緑色			XF14 明灰緑色	Gray Green
137 タイヤブラック	H77 タイヤブラック	N77 タイヤブラック	XF85 ラバーブラック	Tyre Black
526 茶色			XF10 フラットブラウン	Brown
527 陸軍カーキ			XF49+XF64	Khaki

■機体色： 17 RLM71ダークグリーン DARK GREEN 60 RLM02グレー RLM02 GRAY 115 RLM65ライトブルー LIGHT BLUE
 Body color :

■塗装例 2：陸軍飛行実験部 Bf109 E-7 2号機 昭和16年 各務原飛行場
 Scheme 2: Bf109 E-7 No.2, Kakamigahara Airfield, 1941



塗装とマーキング

Painting & Marking

■機体色： 526 茶色 JAPANESE ARMY BROWN
 527 陸軍カーキ JAPANESE ARMY KHAKI
 128 灰緑色 GRAY GREEN

■塗装例 1： 陸軍飛行実験部 Bf109 E-7 1号機 昭和16年 明野飛行場または福生飛行場

Scheme 1: Bf109 E-7 No.1, Akeno or Fussa Airfield, 1941

